

# わが街 Watching



▲「私たち自身が変われば、社会も変わる」と訴える森元さん

ハンセン病問題を見つめ直す

## 人権週間講演会2017

12月2日、福岡県立大学で「人権週間講演会2017」が開かれ、約200人が参加しました。

この講演会は、市民の人権意識を高めることを目的に12月4日～10日の人権週間に合わせて開催しています。今回のテーマは「ハンセン病問題」で、ハンセン病患者の人権回復を訴える活動に取り組む森元美代治さん（鹿児島県奄美大島出身）が登壇し「尊厳回復の願いとわたしの闘い～ハンセン病を生きて～」と題して講演しました。

中学3年生のときにハンセン病と診断され、隔離施設での人生が始まった森元さんは、自身の過酷な体験や差別との闘い、人間回復への切実な思いなどを語りました。

聖夜を彩る商店街

## 伊田商店街クリスマスイベント

12月15日、伊田商店街で、伊田小学校の3年生と6年生が装飾したクリスマスツリー6本の点灯式が行われました。

これは、市国際交流員のアネマリー・グンツェルさんがドイツのクリスマスの習慣を知ってもらおうと企画したもの。この日は、伊田小学校2年生の児童74人と、みのり保育園の園児49人が参加。園児が「赤鼻のトナカイ」などクリスマスソングを披露した後、全員でドイツ語の「3・2・1」をコールして点灯のカウントダウンを行いました。点灯式の最後には、アネマリーさんからクリスマスプレゼントが贈られ、参加した子どもたちは笑顔で受け取りました。

23日には「いたまちクリスマスマーケット」が催され、コーヒーやクレープ、手作り雑貨など、商店街は多彩な店舗でにぎわいました。また、12月3日に有明コロシアム（東京都）で行われた「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2017」で優勝した北九州工業高等専門学校のロボット製作チーム「あぼうたあ〜ず」が、ロボットの体験イベントを催しました。これは、チームメンバーの高辻克海さんが本市の伊田出身で、家族が伊田商店街に勤務しているという縁で実現しました。

高辻さんは「自分が全国大会で優勝して地元に戻ってくることで、人が集まり、商店街の活性化につながるとうれしい」と語りました。

安全運転で行ってらっしゃい

## 交通安全県民運動街頭啓発

12月14日、市役所下の交差点付近の道路で「年末の交通安全県民運動街頭啓発」が行われ、市安全安心まちづくり推進協議会や田川警察署、田川交通安全協会などの関係者約80人が参加しました。

これは、12月11日～31日の期間に実施される「年末の交通安全県民運動」の一環として取り組まれており、市民の交通安全思想を高め、交通事故防止の徹底を図ることを目指す啓発活動です。街頭では、警察官が道路脇に車を誘導し、参加者が車内のドライバーに「年末の多忙な時期ですが、安全運転を心がけてください」などと声をかけ、啓発グッズを配布しました。



▲交通安全推進員の声かけに笑顔で応える運転手



▲ドライ・ツァイ・アインス!大きな声でカウントダウン



▲本格的なロボットを慎重に操作。箱を狙ってゆっくり前進

一瞬一瞬が真剣勝負

## 田川市子どもカルタ大会

12月3日、市総合体育館で「田川市子どもカルタ大会」が行われ、市内の小中学生約250人が参加しました。

この大会は、田川市子どもカルタ大会実行委員会と市教育委員会が主催しており、約20年以上続く歴史ある大会です。0.1秒の戦いを制するため、子どもたちは各地区で練習を重ね、技術を磨いています。今大会では、出場した42チームのうち優勝した「MK5」（大浦校区）と準優勝の「アルファ白鳥」（鎮西校区）を含む上位10チームが筑豊ブロックカルタ大会（1月28日・田川市）に出場。田川市郡や嘉麻市、飯塚市から出場した21チームが競った結果、田川市のチームが上位半数を占めるなど、例年通りの好成績を収めました。



▲札をめがけて素早く手を伸ばす子どもたち

本格的なセットと演技で本物を体験

## 田川中学校ミュージカル公演会

12月7日、田川中学校で、ミュージカル「星の王子様」の公演会が行われ、全校生徒134人が歌と演劇の世界に魅了されました。

これは、文化庁が実施する文化芸術による子どもの育成事業の一環で行われている巡回公演で、東京都を中心に活動する東京演劇集団「風」のみなさんが同校を訪れ、素晴らしい舞台を披露しました。この日は、劇の中盤で3年生がステージに立ち大きな声で熱唱。劇の最後には、全校生徒が役者と一緒になって「出演者」としてミュージカルに参加しました。

生徒会長の堀越琴羽さん（2年生）は「みんなで一緒に歌って、一体感のある舞台でした」と笑顔で話しました。



▲出演者として舞台上に立って合唱する生徒たち